

## 文化活動拠点として期待高まるボッシュホール

ボッシュホールは、2025年3月に「音楽やダンスなどのさまざまな文化を発表する場所がほしい」という区民の願いをもとに開館しました。コンサートや演劇、講演会やさまざまなイベントで利用できる一般301席と車いす席4席のホールや、ギャラリー、リハーサル室、会議室がある文化施設です。朝9時から夜22時までやっています。名前の由来は、ボッシュ株式会社という企業の名前から来ていて、横浜市の区民文化センターでは初のネーミングライツの導入です。ボッシュ様の1Fにはカフェがあり、食べながら休けいもできます。ボッシュホールとボッシュ株式会社の間には広場があって、カッコいい車の展示イベントで使われたりもします。「用事がなくても気楽にきてほしい」とコーディネーターの小野さんが言っていました。

記事: 太田明里、高橋成実、鷹尾聡真、小林遼大 (2025.07.26)



## ぼうさいアートランドで記者が活やく!

ボッシュホールのオープンデー「ぼうさいアートランド」で、ジュニア記者たちが取材レポートをステージ発表し、人形劇の劇団「デフ・パペトシアター・ひとみ」にインタビューしました。また、神奈川大の学生が編集した、ジュニア編集局のPR動画が大スクリーンに流れました。

## しょう障がいのある方が安心安全に働ける環境「IBUKI(イブキ)」

障がいのある方が安心安全に働ける環境づくりに取り組む株式会社スタートライン、屋内農園型障がい者雇用支援サービス「IBUKI」を取材しました。スタートラインは障がい者がいきいきと働くことができる環境を作り、その職場に定着するサポートしている会社です。ここでは、障がいのある従業員が、天候に左右されない建物の中で、ハーブや野菜を、LEDライトや装置を使って栽培し、ドライ加工、ブレンド、パッケージ等の作業をしています。作られたハーブは、ハーブティやハーブソルトのような食品に加工したり、ハーバリウムや香りぶくろなどにしたり、企業での食堂の材料になったり、ノベルティとして使われたりします。取材の最後にミントのハーブの茶葉を自分でティーバックにつめて、試飲しました。すーっとした軽やかな味わいでとてもおいしかったです! 記事: 木尾実莉、太田明里、鳥屋まれば、高橋成実、吉田皓正、島田絢乃、押田 颯馬 (2025.07.28)



## 自然と人が共に生きる場所、都筑中央公園



都筑中央公園は、港北ニュータウン開発と共に今から約23年前に作られました。広さは東京ドーム4こ分。4つの部会があります。里山の管理や収かくを行う「田畑保全部会」、里山の整ひなどで出た間ばつ材を炭として再利用する「炭山部会」、園内の生きたい系を調査して記録する「調査部会」、子どもが自然とふれ合う「ジュニアくらぶ」の活動を支える「親子自然体験部会」です。季節のイベントも魅力的で、春には「バラまつり」、夏には流しそうめんも行う「七夕まつり」、秋には稲などを収かくしそれらを調理して食べる収穫祭「里山まつり」、そして冬には「お正月遊びともちつき」が行われています。最近では身近に見ることができなくなった、カイツブリやオニヤンマが生息していたり、自然豊かなところにはしか自生しない植物、キンラン、ギンランも見られます。園内でミツバチも育てていて、レストハウスではちみつを買うこともできます。のうこうなあまみがあり美味しかったです。記事: 小川悠樹、吉田皓正 (2025.07.31)

広告

ゆめのつづき ここて始まる

ボッシュホール (横浜市都筑区区民文化センター)  
横浜市都筑区中川中央1丁目9番33号  
TEL: 045-530-5084

ボッシュホールLINE公式アカウント  
お友だち登録をお願いします!

ボッシュホール開館1周年記念 都筑 DREAM & Culture FESTIVAL 2026  
3/15 @ 10:00-16:30  
音楽からダンス、パントマイムやダイバーシティスポーツまで!  
様々な体験が花咲く春のお祭りをボッシュホールで!

記事の担当記者 つづき Jr. MM Jr. みなとみらい



## 南極も宇宙も支える!? 挑戦し続ける小野測器

小野測器は1954年に小野義一郎さんがたてた会社です。主な仕事は自動車関連の計測です。他にも、南極観測船「しらせ」に軸馬力計という測定器を導入したり、JAXAのH3ロケットに回転計をとうさいしたりと幅広い分野で活やくしています。いくつか部屋を見学しました。「体感できる装置」は、車に乗れない人でも体感できてとても便利だと思いました。「残響室」は部屋一面が分厚いコンクリートに囲まれ、音が何重にも反射しました。手を軽くたたいただけでもすごく大きい音がしました。反対に、音がほとんど響かない「無響室」はガラスウールの板がたくさんつき出ている、これまでにあったことのない部屋でした。みんなが大声でしゃべってもうるさくありませんでした。記事: 小川悠樹、小林僚大、吉田皓正、鳥屋まれば (2025.07.29)



## 「はかる」会社、小野測器

「はかる」会社と聞いて、重さ、水の量、時間などを測る会社かなと想像していましたが、実際に測っていたものは差しこんだ棒がどれくらい回転するのか、燃料の量、物の厚さ、物がどれくらい回転しているのか、音や温度などでした。はかることだけでなく、はかる装置も自分たちで作っている会社と知り、おどろきました。記事: 小川 絢咲

## 誰もが楽しめるノースポート・モールの工夫

センター北駅の大型商業施設、ノースポート・モール。約115店ぼがならび、一日中楽しめるショッピングモールです。1日の来館者数は平日で約2万5千人、休日は約5万人だそうです。年間約380回のイベントが行われています。イベント開さいの目的は、ファンをふやし、より多くのお客さまにお店に足を運んでもらうこと。買い物だけでなく、楽しい時間を過ごしてもらいたいそうです。また、ノースポート・モールの防災センターには、かんしかメラのモニターが壁一面にあり、もしもの時にすぐにつけられるようになっていて、安心して買い物ができます。私たちが施設で楽しむことができるのは、裏側でさまざまな仕事をする人達が協力しあっているからなのだとならためて感じました。記事: 木尾実莉、高橋成実、太田明里、小川悠樹、中田海結 (2025.07.31)



広告

ONOSOKKI

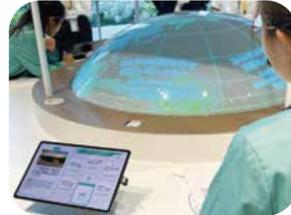
# 今年の自由研究 どうしよう?

とっておきの科学ネタ、あります

小野測器 身近な計測 検索

## 富士フィルムビジネスイノベーション

富士フィルムビジネスイノベーションは、コピー機やプリンターなどのオフィス機器や、働き方を便利にするサービスをていきょうしている会社です。横浜みなとみらい事業所には、2024年6月にオープンした「Green Park FLOOP」があり、環境問題や印刷技術などをわかりやすく体験しながら学べる場です。さらに、Cafe & Co-workというカフェで、環境に配慮したドリンクや軽食を提供していて、だれでもくつろぎながら勉強や仕事をすることができます。レモネードが、とても美味しかったです! R&D企画管理部の方のお話を聞いて印象に残ったことは、「ものづくりや予算の組み立てについて、5年、10年先のことを考えて仕事をしている」ということです。記事: 呉竹 玲香 (2025.08.04 - 08)



## パソコンを循環させる「インバースネット」

インバースネットは、自社パソコンやリユースした中古のパソコンをあつかう会社です。また、最新ゲームを快てきに楽しめるゲーミングPCを作っています。中古パソコンは、ヤマダ電機のアウトレット店などで販売しています。パソコンを販売して終わりではなく、部品が資源になるまで関わっていることを知り、すばらしいと思いました。取材当日は、アイスホッケーチーム横浜グリッツの大澤勇斗選手が来てくれました。大澤選手は、インバースネットで働きながらプロスポーツ選手として活やくしています。お会いすることができてうれしかったです。記事: 花岡 昊、中光彬文 (2025.08.06)

## インバースネット横浜本社

神奈川区にあるインバースネット横浜本社をたずねました。一日に作るパソコン「FRONTIER」は100台以上というきぼの大きさにおどろきました。パソコンを作るだけでなく、10年前のパソコンをリサイクルして鉄として販売したり、アウトレット店でパソコンを販売していることがとてもすごいと思いました。使われなくなったパソコンをリユース・リサイクルして、最後まで資源として使っていくことは、大切な社会責けんです。他にも、パソコンを法人向けにレンタルしていて、パソコンメーカーならではのサービスに感心しました。記事: 馬場航平 (2025.08.06)

## おとずれる人々の心を豊かにしてくれる、すてきな場所



ヤマハミュージック 横浜みなとみらいへ取材に行きました。1Fのミュージックキャンパスは、約10m以上もあるふき抜けで開放感があり、ソファには弦楽器がおりてあり、大きなモニターに季節によってかわる映像や音楽が流れていました。AIのサポートで楽しく弾けるピアノもありました。2Fは楽器体感コーナーがあるフロアです。体験できる楽器は11種類あり、自由にさわったり演奏したりできるようになっています。2階では壁一面がガラスケースになったディスプレイもあって、まるで楽器の美術館のよう。数えきれないほどの楽器にあつうされました。管楽器リペアコーナーがあり、ガラスばりて修理しているところを見ることができました。ここで仕事をしている方は毎月100本ほどの楽器に対応していて、管楽器をメインに行っているとのことでした。3Fは、音楽教室があり、生徒が1500人ほど通っています。オカリナやハーブなど、他の楽器店ではなかなか見られないめづらしいコースの教室もあり、自分にぴったりの学びを見つけられそうです。ヤマハミュージック 横浜みなとみらいは、おとずれる人々の心を豊かにしてくれるすてきな場所でした。記事: 木尾実莉、中田海結、川瀬未来 (2025.08.06)

広告

いまはじめると、一生いい

音楽には伸びる時期があります。大人になっても音楽を自由に楽しめる「音楽力」が身につきます。

ヤマハミュージックで レッスン

無料体験レッスン 申込受付中!

体験入会から正式に入会された先着10名様に ヤマハオリジナルグッズプレゼント 有効期間2026年3月末まで

ミュージックアベニュー横浜みなとみらいII

TEL.045-307-1011

横浜市西区みなとみらい5-1-2 横浜シンフォステージ イーストタワー3F  
受付時間 平日・土曜10:00~21:30 日曜10:00~20:30  
株式会社ヤマハミュージックジャパン

みなとみらい線「新高島駅」4番出口から徒歩1分

## 「FLOOP」でなりきりクルー体験

わたしたちはカッコいいマイクとすてきな制服をまとい、夏休みイベント「なりきりクルーガイド」をしました。FLOOPには4つの体験エリアがあり、特におもしろいと感じた2つを紹介しします。「Technology」エリアにある「色のつくり方」では、4色の量を調整して見本の色に近づけていきます。色の配分に挑戦したあと、ポストカードに印刷できます! 「Think」エリアでは、環境問題の質問に対し、みんなで話し合いながらボタンをおしていくと、地球の色が青や緑、赤などの色に変わります。FLOOPはSDGsについて楽しく学べる場所でもとてもオススメです! 記事: 川瀬未来 (2025.08.04 - 08)



## 歴史ある建物! 神奈川県庁



神奈川県庁には、新庁舎と旧庁舎の2つの建物があります。新庁舎の建物は坂倉準三氏の設計です。昭和3年にできた旧庁舎の議会議室は、議員の数が増えたので新庁舎にうつりました。新庁舎の本会議場はとても広く議員の席数は113席あります。新旧庁舎どちらも上の階がぼう聴席になっていて、車いすの方や赤ちゃん連れの方も会議をぼう聴することができます。本会議では、県民の生活や防災について、最終的な決定をします。生活面では、赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいる時から、子どもになり、大人になって、お年よりになるまで、お金をどのように使うかということ。防災面では、津波や地震などの災害が起きた時、ひなを呼びかけることなどです。また、神奈川県庁はSDGsに取り組んでいて、例えば、飲み物が全て紙パックになっている自動販売機もあり、おどろきました。記事: 小林遼大、花岡 昊、濱田六花 (2025.08.05)

